

## 機関誌「小児リウマチ」への投稿時のチェックリスト

(2023年10月改訂)

「小児リウマチ」誌への投稿は、原則オンライン査読システムScholarOne Manuscripts™ (S1M)で行うが、「著者の利益相反申告書」は学会HPの投稿ページからダウンロードし、PDFを投稿時に添付する。「投稿チェックリスト」はS1M内のチェックリスト(下記の内容)を活用するかPDFを添付する。

### <S1Mシステム上でのチェックリスト>

- 本論文は他誌に発表していない。
- 筆頭著者は本学会会員である(招待解説論文は除く)。
- 原稿はA4版にダブルスペース(行間を1行分あける)で記載した。
- 明朝体12ポイント(数字、英字は半角)、1頁約600字である。
- 図表の説明・図表内の文字は英文を用いた(依頼の解説論文は日本語で記載可)。
- 通しの頁番号を入れる。
- 原稿の種類(原著・総説・症例報告・短報・ガイドライン・委員会報告・地方会/研究会などの抄録・解説論文)、文字・図表数を確認した。
- 印刷の組上がり(図、表、文献を含む)は原著・総説・解説論文は6頁、症例報告は4頁、委員会報告は8頁、地方会/研究会などの抄録は400字、短報はイメージ論文が1頁、その他の短報が2頁(以内)である。1頁は1,800字に相当する。
- 原稿1枚目に標題(原則として略語を用いない)、著者名(ふりがなつき、英文著者名)、所属機関名(研究室名、教室名を含む、英文所属名)、25語以内の英文簡潔標題(brief title for a running head)、責任著者(氏名・所属機関名・住所)を記載した。
- 原稿2枚目に論文中のKey words(5語以内、日本語および英文)、原稿中の略語(その全綴り)をABC順に配列し記載し、主執筆者の住所、氏名、電話番号、FAX番号、E-mail addressを記入した。
- 投稿規定の順序に基づき、原稿3枚目より本文を記載し、年齢別呼称の確認をした。
- プライバシー保護は「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」(外科関連学会協議会)を遵守している。
  - ・患者氏名、イニシャル、ID、生年月日、住所は記載しない。性別、家族構成、都道府県は記載可能であるが、個人が特定でないように配慮する。日時は「20XX年」「月日のみ」「第○病日」といった表現が望ましい。
  - ・個人が特定されるような写真は提示せず、標本番号・画像情報の番号は削除する。
  - ・患者の同意は、発表者の施設の倫理委員会・施設管理者の方針に従うことを原則とする。
- ヒトを用いた実験及びヒトゲノム・遺伝子解析に関する研究はヘルシンキ宣言を遵守し、当該施設の倫理委員会の承認を得て行い、その旨を方法の項に記している。
- 症例報告での著者数は7名以内とする。著者資格の基準を満たさない関係者は、「謝辞(Acknowledgment)」の項目に明記する。